



第8回国民体育大会
秋季大会の様子
(武徳殿で開催された柔道)



武徳殿 (昭和31年撮影)

vol.30

武徳殿と第8回国民体育
大会秋季大会



新居浜

新居浜の
玉手箱

市史編さん室では、新居浜市に関係する古い資料を調べています。あなたのご自宅にも古い写真や文書などが眠っていませんか？ 皆さんからの情報をお待ちしています。

武徳殿は、武道奨励、武徳高揚を図るため、初代市長白石誉二郎と住友の寄付により建造（昭和14年落成）されました。重厚な和風建築で、正面中央には千鳥破風がつけられ、入母屋造の車寄せを設けるなど、80年以上経過した現在も当時の姿のまま、武道場として長く市民に愛されています。平成16年には国の登録有形文化財に指定されました。

昭和28年10月には、四国4県の共催で第8回国民体育大会秋季大会（昭和28年10月22日～26日開催）が開催され、武徳殿が柔道の競技会場として使用されました。同大会において市内では柔道の他に昭和28年10月11日に竣工した市営野球場で軟式野球、宮西小学校講堂で重量挙げの競技が実施されました。

大会期間中は絶好の秋日和に恵まれ、多くの市民が献身的に全国から集まった選手や役員、観客を温かくもてなしました。

▼市史編さん室 ☎ 65 - 1567

広告欄